



第49回 洞爺湖マラソン2023開催



全 国から集まったランナーが洞爺湖畔を駆け抜ける第49回洞爺湖マラソン2023が、5月21日に行われました。今回は4年ぶりにフルマラソンが復活。当日はあいにくの雨となりましたが、2844人が熱いレースを繰り広げました。

フルマラソンは、洞爺湖温泉街をスタートして三豊トンネル前の交差点を通過、スタートから約3.1キロ進んだ国道230号上で折り返し、洞爺湖畔を反時計周りに一周するコース。大会前日の20日には前夜祭が開かれ、福岡県から出場した金田康弘さんが選手宣誓しました。

大会当日は、朝から雨が降

りしきる厳しいコンディション。気温も上がらず、ポンチヨを着たまま出場する選手も多く見受けられました。

フルマラソンが始まる午前9時が近づく、スタート地点にランナーが集結。虻田中学校吹奏楽部の演奏で雰囲気盛り上げ、号砲と同時にスタート。レース中も雨は降り続けましたが、ランナーは力強い走りでゴールを目指しました。

女子では大会新記録も生まれ、記憶と記録に残る大会となりました。5、10キロも行われ、1041人が湖畔を駆け抜けました。

◀降りしきる雨の中、力走するランナー

4年ぶり 復活のフルマラソン



2



1



4



3



8



6



5

【写真説明】

1. スタートの号砲を待つフルマラソンのランナー 2. 様々な世代の人が出場した 10 ㎞ 3. 列を成してゴールを目指すランナー 4. 声援を受けながら駆け抜けるランナー 5. 男子フルマラソン 1 位でゴールした小西さん 6. 5 ㎞に挑む子どもたち 7. 雨に打たれながらも力走 8. 無事完走し、お互いをたたえ合うランナー



7



1



3



2



5



4

【写真説明】

1. フルマラソンを走り終えて記念撮影 2. リラックスした表情でフルマラソンに挑むランナー 3. 5^{キロ}を完走した女子3人組 4. レースを終え、笑顔でピース 5. とうや水の駅前の給水所で振舞われた財田米のおにぎりを食べてエネルギー補給

「後半は自分のペースで走れました。寒いし大変だったけど、これからはもっと速く走れるようになります」と意気込んでいました。

須貝祐太郎さん(32)と寺本隼子さん(31)は湖畔の眺めを楽しんだ様子。「自然の中を走れて気持ちよかったです。走ると寒さも気にならなかった。」と話していました。

総勢4千人が出場した第49回洞爺湖マラソン。ランナーは、冷たい雨にも負けず無事ゴールにたどり着くと笑顔を交わし合っていました。

札幌市から出場した岩崎颯人さん・柚菜さん(中学2年)の双子は、両親と祖母を合わせた家族5人で5^{キロ}に出場。「後半は自分のペースで走れました。寒いし大変だったけど、これからはもっと速く走れるようになります」と意気込んでいました。



男子フルマラソン1位 小西耕生さん

「3度目のフルマラソン出場で初優勝することができました。秋にまたフルマラソンに挑戦したいので、もっと練習して強くなりたいです」



女子フルマラソン1位 藤沢舞さん

「大会新記録で7度目の優勝を決めることができました。速さの秘訣は『練習あるのみ』。サロマ湖の100キロマラソンを目指してもっと練習をがんばります」



RUNNER'S VOICE

4年ぶりにフルマラソンが復活し、盛り上がりを見せた第49回洞爺湖マラソン2023。

見事入賞を果たしたランナーの声をお届けします！



5キロ男子 39歳以下1位 藤田蓮さん

「室蘭の高校の陸上部で練習しています。洞爺湖マラソンの優勝は初めてなのでうれしいです」



10キロ女子 40歳代1位 森内千鶴さん

「10キロは3度目の出場で優勝は初めてです。洞爺湖を見ながら走れたので、雨でも楽しかったです」



5キロ男子 70歳以上1位 加藤治さん

「洞爺湖マラソンは20数回出場しています。若い人たちと走れて楽しかったです」



10キロ女子 50歳代1位 太田尚子さん

「フルマラソンで8連覇しましたが、膝の手術を受けて今日が再スタートの日でした。フルの復帰を目指します」